

木蓮

くさめ、くさめ

急に冷えると「くしゃみ」が出ます。鼻の粘液が冷氣などの刺激で「ハクション」と息を吹き出すのは一種の反射作用で、刺激が深部の器官に及ぶのを防ぐ働きをしています。「ハクション」がくしゃみそのものをさす言葉になったのは、擬声語がそのまま名称に転化したケースですが、もともと「くさめ」は、くしゃみが出たときのおまじないの言葉でした。風邪を引いて早死にしないように「くそ食らえ」とばかり、くしゃみにむかって「くさめ、くさめ」と罵っていたそうです。兼好法師の『徒然草』や高浜虚子の俳句「つづけさまにくさめして威儀くづれけり」にも登場しています。

長期予報によると、今年の冬はとて寒いそうです。おまじないで風邪予防はできません。部屋を暖かくして、からだを休め、ゆっくり過ごしましょう。こたつでミカンならぬこたつで読書もおすすめです。

金商図書館では、こころが温まる良書を用意してあなたを待っています。

図書委員がすすめる

読んで得するテッパン本

『神様のカルテ』 夏川 草介著

話は多忙な主人公である若い医師は、診療、友人、隣人のことなど、ハードな日常を送っています。人を助けるために色々なことをしている医者という仕事は本当に大変だけど、格好良いと思いました。

(23H 武井)

『月光』 誉田 哲也著

同級生の少年が運転するバイクに轢かれ、美しく優しかった姉が死んでしまいます。殺人を疑う妹の結花は、真相を探るべく同じ高校に入学します。妹が姉の真相を一生懸命探るところがおもしろいです。

(24H 荒木)

『カゲロウデイズ』 じん著

目も眩む話—だから夏は嫌いなんだ。夏といえば、というよくある話です。

じんさん自身が作曲した曲を元に書いた小説です。歌詞やPVでは分からなかったことも小説に書かれており、じんさんの世界観を味わうことができます。

(25H 杉本)

図書館の中庭に美しい花を咲かせる木蓮は、地球上最古の花木といわれています。歴史ある金商高校に学ぶみなさんが、心も知識も大きく美しく成長することを願って、図書館だより「木蓮(もくれん)」をお届けします。

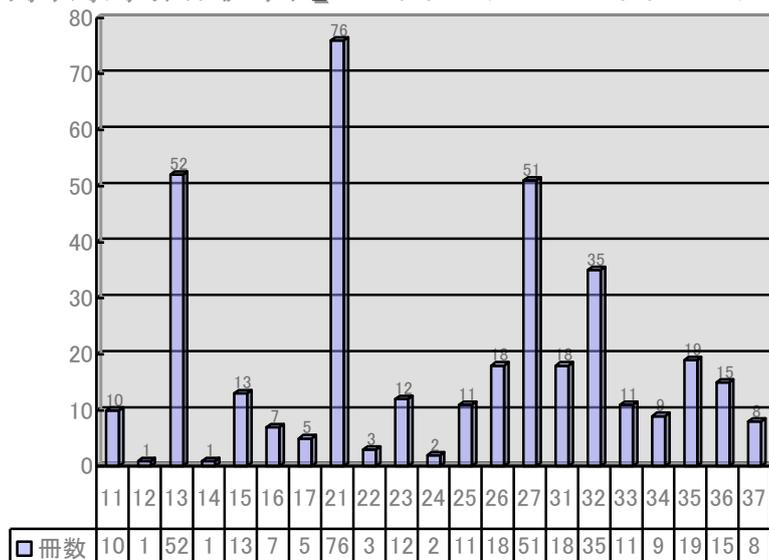
新着雑誌

『文芸春秋オビニオン2014年の論点100』

文芸春秋
2014年の
論点
100

●2014年の日本を待ち受ける100の課題に105の知性が挑戦します。

図書館利用統計【10月1日~11月30日】



今回の図書貸し出し総数は377冊でした。開館日数は39日で、1日平均にすると約9.7冊の貸し出しです。学年別では3年生が115冊、2年生が173冊で、1年生は89冊でした。入館者の総数は2,257人で、1日平均約58人の利用でした。図書館での授業は44時間ありました。進路決定後の3年生の貸し出しが伸びています。年末年始は、ゆっくり時間が取れるチャンスです。大掃除を済ませたら読書で自分磨きをしましょう！

募集読書会を開催します！

*日時 12月17日(火) 13:30~15:30

*テキスト 『星の銀貨の3つのお話』 永井 均著

(河出書房新社 2008年発行『ルサンチマンの哲学』より抜粋)

誰でも自由に参加できます。参加希望者は図書委員もしくは図書館まで。

おいしいお菓子とお茶を用意して待っています！

